

障害のある方の就労



- 障害のある/なしの区別のない就業形態
- ITラーニングプログラム
 - IT業界などで社会人として働くためのスキルを学ぶ障害のある方向けの就労プログラム
 - 2年間の契約社員
 - 専門資格取得のためのITトレーニング、ビジネススキルトレーニングを受講
- 社員が“一緒に働くこと”を学ぶ機会
- ダイバーシティ(多様性)の考え方
 - 同質の才能だけが集まって培われた文化からは、革新的なことは生まれない
 - さまざまな個性、さまざまなバックボーン、さまざまなキャリアを持った人が混ざり合い、刺激しあうことで、いままでにない新しい可能性がうまれていく

人材育成への取り組み



- **DreamSpark**
プログラミングツール、クラウド等を学生には無償提供
- **Microsoft Virtual Academy**
最新技術をオンラインで学べる無償学習サイト
- **Microsoft Student Partners**
学生コミュニティを組織、サポート
- **Imagine Cup**
世界最大の学生向けITコンテスト
- **Microsoft YouthSpark: Programming for all**
女性、遠隔地在住者、障害者、若年無業者にプログラミング授業を提供

障害のある学生に向けた必要な取り組み

インターンシップの積極的实施

- 極端に少ない障害学生のインターンシップ
(障害学生インターンシップ実施校14校/全高等教育機関740校)
- 文部科学省としてもインターンシップを推進
- 企業のダイバーシティの推進加速
- 企業側の一緒に働く経験と知識の不足を補うことにも

理系人材育成支援

- 全世界的にも日本でも推進
 - 2015年3月 文部科学省 「理工系人材育成戦略」
 - 2016年1月 米国政府「Computer Science For All」
 - 2016年4月 産業競争力会議「第4次産業革命の時代を勝ち抜ける人材の育成」
「初等中等教育でのプログラミング教育必修化(2020年)の検討」
- 障害のある学生の特性が活かせる側面も

障害のある学生にも有効なキャリア支援を行い、
個々の特性を生かして「総活躍」できる社会へ



マイクロソフトが提供する 学生向け「ICT スキル習得」支援プログラム

なぜ、今、学生にプログラミング スキルが求められるのか？

IoTという言葉をご存じでしょうか？ Internet of Things の頭文字をとって IoT。日本語で「モノのインターネット」と訳されるこの言葉は、PC やスマートフォンに代表される情報・通信機器だけでなく、身の回りのさまざまな「モノ」がインターネットにつながることを意味し、今後の ICT が向かう姿の一つとされています。

体重や体組成をクラウド上のデータベースで自動的に管理してくれる体重計、相互に通信しながら空いている道路を案内し合う自動車、家電や設備機器をつないでエネルギーの最適化を図る家。今、身の回りにあるモノがインターネットにつながる一方で、これまで思いもよらなかった新しいモノが出てくるかも知れません。今、我々が日常的に使用しているアプリやゲームも新しいアイデアや技術を取り込みながら進化していくでしょう。それらを生み出す源泉こそがプログラミングスキルです。政府の成長戦略素案にプログラミング教育が盛り込まれたことは、プログラミング スキルを持った高度 ICT 人材の育成が今後の国際競争力を左右すると国が認識しているからに違いありません。

コンピューターサイエンス分野の人材育成を推進している「Code.org」という米国の非営利団体では、有識者を通じて次のように訴えかけています。

「新しいゲームを買うだけではなく作ってみよう。スマホで遊ぶだけでなくプログラミングしてみよう」

マイクロソフトでは、学生の ICT スキル、とくに能動的に ICT を使いこなす「プログラミング スキル」を習得し、さらに高めるためのさまざまな支援プログラムを提供しています。明日の社会を担う学生の ICT スキルを共に育てていきましょう。

日本マイクロソフト株式会社
執行役 デベロッパー エクスペリエンス & エバンジェリズム統括本部長
伊藤かつら

マイクロソフトが提供する 学生向け「ICT スキル習得」支援プログラム

開発環境の構築	DreamSpark
トレーニング	Microsoft Innovation Center (MIC)
オンライン学習	Microsoft Virtual Academy (MVA)
認定資格	Microsoft Technology Associate (MTA)
就業体験	インターンシップ Microsoft Student Partners (MSP)
IT コンテスト	Imagine Cup

マイクロソフトでは、開発環境の構築に始まり、授業用のカリキュラム、学習教材、トレーニング、認定資格、国際的なコンテストといった、学生がプログラミングスキルを身につけるためのさまざまな支援プログラムをご提供しています。社員と接しながら、実際の開発サイクルやマーケティングを経験できる就業体験プログラムもご用意しています。



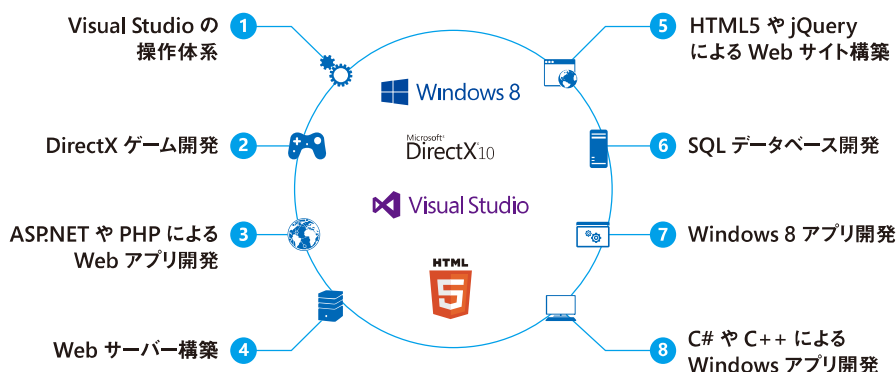
③ <http://www.microsoft.com/ja-jp/education/dreamspark.aspx>

DreamSpark

プログラミングの学習や研究用に、学生個人は無償で、教育機関は年間 10,800 円から対象製品をインストールできる年間制のメンバーシップ プログラムです。世界中のプログラマーが使用している Visual Studio、サーバー用の OS である Windows Server、データベース管理システムの SQL Server などが対象製品です。いずれの製品も契約期間中は最新版をご利用いただけます。2014 年 7 月現在、日本の 20% 以上の大学が DreamSpark を導入しています。

Microsoft DreamSpark

習得できるプログラミング スキル



すべての教育機関 (学校単位でご契約)

DreamSpark Standard

ダウンロード: 10,800 円 (税込価格)
DVD: 47,520 円 (税込価格)

最新の開発ツールやサーバー製品をご契約の学校に所属する学生・教員・コンピューターラボの PC にインストールしてお使いいただけるほか、テクニカル サポートが提供されます。学校単位でご契約いただけます。

利用対象 ・初等中等教育機関 (小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校)
・高等教育機関 (大学、高等専門学校、専修学校、専門学校)

対象製品 ・Visual Studio Professional、Windows Server、SQL Server など

理工系の学部 (学部単位でご契約)

DreamSpark Premium

ダウンロード: 51,840 円 (税込価格) ~
DVD: 127,440 円 (税込価格) ~

最新の開発ツール (上位エディション) やクライアント OS、サーバー製品、Visio や Project といったアプリケーションをご契約の学部に所属する学生・教員・コンピューターラボの PC にインストールしてお使いいただけるほか、テクニカル サポートが提供されます。学部単位でご契約いただけます。

利用対象 ・高等教育機関の理工系学部 (自然科学、工業技術、工学、数学などの学部、またはそれに準ずるもの)

対象製品 ・DreamSpark Standard の対象製品に加え、Windows OS、Visual Studio Premium、SharePoint Server、Visio など

Visual Studio

Windows Server

Windows Embedded 8

Microsoft
Expression Studio 4
Ultimate

KINECT for Windows

Microsoft
SQL Server 2012

マイクロソフトの教育機関向けライセンス プログラムをご契約いただいている場合は、教育機関向け DreamSpark を無償でお使いいただけます。



Microsoft Innovation Center (MIC)

マイクロソフト イノベーション センターはマイクロソフトが保有する製品開発やテクノロジーのリソースを活用して、国内の ICT 産業における技術研究、製品開発、検証を支援し、新たなビジネスの創出や国内外での展開を推進することを目的とした機関です。その活動の一環として、ハンズオンによるトレーニングやスキルアップのための無償セミナーを提供しています。セミナーやトレーニングで使用する説明用の資料や素材（ソースコードやプロジェクトファイルなど）は、教育機関のみならずが授業でお使いいただけるように無償でご提供します。

Microsoft
Innovation Center

提供している無償セミナーの一例

レベル	コース
基礎編	C#入門
	C# 基礎編 ネットワーク利用
	C# 基礎編 Web Service 利用
	C# 基礎編 オブジェクト指向とライブラリ
応用編	プログラミングの基礎編 - IE 11 と Visual Studio で学ぶ HTML5/JavaScript
	C# 応用編 LINQ プログラミング
実践編	C# ではじめる Kinect for Windows
	開発者のための Microsoft Azure
	C# ではじめる次世代 UI プログラミング XAML



活用事例 東京理科大学

東京理科大学は、マイクロソフトの技術を利用して教育・研究のグローバル展開を指向しています。学内外（在校生、教職員、卒業生）の 20 万人規模のネットワーキングを目的としてマイクロソフトのテクノロジーを活用するとともに、在校生の ICT スキル習得支援のために、マイクロソフトの IT コンテンツや認定資格を積極的に活用していきたいと考えています。

学校法人 東京理科大学
ICT 環境担当理事 (CIO)
半谷 精一郎 (工学部第一部学部長)



Microsoft Virtual Academy (MVA)

マイクロソフトの最新製品や技術をオンラインで学べる学習サイトです。専門家が監修、説明する学習コンテンツはすべて無償。オンラインなので、いつでもどこでも好きなときに受講できます。

MVA

提供しているトレーニング コンテンツの一例

トピック	コース
Office	Web 時代の新しい Office 開発に備えよう
Windows	HTML5 で作る Windows ストアアプリ XAML で作る Windows ストアアプリ iOS、Android 開発者のための .NET 開発、Windows ストア アプリ開発 Windows 8 UX デザイン
Azure	いまさら聞けない Windows Azure 入門 「WordPress の教科書 2」WordPress をはじめましょう
Visual Studio	C# を使用した Windows ストア アプリ開発概要 最新 .NET 技術によるアプリケーション開発入門 JavaScript x CSS3 x HTML5 開発



Microsoft Technology Associate (MTA)

ICT の基本的な知識を習得していることを証明する認定資格プログラムです。ICT の学習をはじめた学生が、IT 分野へのキャリアを築いていくときの第一歩を踏み出すための知識とスキルが身につきます。グローバルで展開している認定資格なので、全世界で通用します。

MTA

提供しているトレーニング コンテンツの一例

- 1 ソフトウェア開発に関する基本事項
- 2 Windows 開発に関する基本事項
- 3 Microsoft .NET の基礎
- 4 Web 開発に関する基本事項
- 5 HTML5 アプリケーション開発に関する基本事項
- 6 モバイル開発に関する基本事項
- 7 ゲーム開発に関する基本事項





インターンシップ

日本マイクロソフトでは、実際のマイクロソフトの開発サイクルやマーケティングを経験できるいくつかのインターンシップ プログラムを提供しています。

通年インターンシップ

2015 年 4 月以降に卒業予定の大学生・大学院生を対象に、ソフトウェア開発部門でインターンを募集しています。マイクロソフトでのインターンは、社員と連携しながら、インターンが自らプロジェクトを遂行し、本格的なソフトウェア開発を行います。

サマー インターンシップ

夏季期間 (2 か月)、マイクロソフトの製品開発チームに参加します。単なる就業体験ではなく、給料を受け取り責任感のある仕事を行います (2014 年のサマー インターンシップのエントリー受付は終了しています)。



インターンシップ参加者の声

「僕らがマイクロソフトのインターンシップを勧めるワケ」

JUNNOSUKE 「知らない世界を覗いてみることは、自分の将来を考えることでもあります。」

RYO 「プログラム マネージャーの仕事の面白みを見出し新しい目標ができました。」

YU 「プロジェクトを動かす仕事に憧れ、マイクロソフトと出会いました。」



Microsoft Student Partners (MSP)

マイクロソフトが全世界で展開する学生向けのパートナー プログラムです。マイクロソフトの製品や技術 — Windows、Azure、Visual Studio、Kinect、C#、.NET などを開発する学生の開発者を増やすことをミッションに Imagine Cup 世界大会への出場を目指すチーム、ワークショップやハッカソンを企画・運営するチーム、中高生にプログラミングを教えるチームなどに別れて活動しています。プレゼンのスキルアップ、企画書の作り方、技術研修のような社員を講師にした勉強会も開催されています。



Imagine Cup

ビル・ゲイツの発案で 2003 年に始まった世界最大の学生向け IT コンテストです。2014 年夏に米国・シアトルで開催された Imagine Cup 2014 世界大会には世界中から 16,892 人の学生が応募し、各国、各地域の予選をくぐり抜けた 33 チームが参加しました。世界の同世代と競い合えるまたない機会です。

次回の世界大会は 2015 年 7 月に米国・シアトルで、日本代表を選出する日本大会は同年 4 月の開催を予定しています。



●Microsoft、DreamSpark、Expression、MSDN、OneNote、Project、SharePoint、SQL Server、Visio、Visual Studio、Windows、Windows Server は米国 Microsoft Corporation および、またはその関連会社の商標です。●本書は情報提供のみを目的としており、本書の内容について、Microsoft は、明示的あるいは非明示的ないかなる保証もいたしません。●本書に記載した情報は、将来予告なしに変更されることがあります。●本書を使用する場合のリスクまたは本書の使用による結果について、Microsoft はいかなる責務も負うものではありません。●本書に記載されている会社、組織、製品、人物、イベントの例は架空のもので、実在の会社、組織、製品、人物、またはイベントとの関連を示唆するものではありません。●適用する著作権法のすべてにお客様は準拠いただく必要があります。●著作権上の権利に限定されことなく、本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。●その他記載されている、会社名、製品名、ロゴ等は、各社の登録商標または商標です。●本書の内容は、2014 年 10 月現在のものです。

©2014 Microsoft Corporation. All rights reserved.